

令和6年第3回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、「パリ五輪に出場した、白井市出身の鈴木梨羅選手」の「しろいふるさと大使」就任について申し上げます。

パリ五輪にウエイトリフティング女子49キロ級に日本代表として出場した、白井市出身の鈴木梨羅選手を白井市の魅力を全国に発信する「しろいふるさと大使」に委嘱いたしました。

しろいふるさと大使に就任した鈴木選手は、「白井と言えばウエイトリフティングの街と言われるようにしたい」と抱負を述べられていました。

なお、しろいふるさと大使は、市の知名度向上やイメージアップのために、市の出身者など、ゆかりのある方を委嘱しており、鈴木選手を含めて、現在7組8名の方にお受けいただいております。

今後、白井市出身の俳優、長野克弘さんや白井市在住でプロサッカークラブSC相模原所属の武藤雄樹選手をしろいふるさと大使として委嘱する準備を進めております。

次に、「ウマ娘 プリティーダービー」とのコラボレーション企画について申し上げます。

市と北総鉄道では、地域活性化の取組として、市内に日本唯一のJRA競馬学校があり、文化的にも馬と深い関わりがある市の特徴を生かし、競走馬をモチーフとしたキャラクターたちが活躍する作品「ウマ娘 プリティーダービー」とのコラボ企画を実施中です。

市では、なし坊とウマ娘「ゴールドシップ」のコラボイラストを描いた缶バッジとアクリルキーホルダーを販売しているほか、市内の26店舗（うち2店舗配布終了）でウマ娘のトレーディングカードを配布しております。

また、市役所本庁舎1階の休憩スペースに、なし坊とウマ娘「ゴールドシップ」の等身大パネルやトレーディングカード等の展示を行っています。

これらの取組を端緒として、白井市への移動人口・関係人口が創出され、地域経済の活性化や将来的な移住定住に繋がり、持続可能な白井市

を作っていければと考えています。

本事業を通じてより多くの方に白井市を知り、訪れ、愛着を持っていただくとともに、今後も様々な方法で市のプロモーションを行ってまいります。

次に、白井市と株式会社インターネットイニシアティブとの包括連携協定について申し上げます。

市は、株式会社インターネットイニシアティブとの間において、相互に緊密な連携を強化し、協働による活動を推進することにより、教育振興や地域D Xなど地域の活性化を図るため、包括連携に関する協定を締結しました。

株式会社インターネットイニシアティブ様と連携することにより、通信インフラ事業者としてのノウハウを活かした情報教育への支援やスマート農業など産業分野のI T化などに取り組み、市民サービスの向上を図ってまいります。

以上で諸般の報告を終わります。